



## 迅速かつ正確に消火！

### 屋内消火栓操法大会

第4回屋内消火栓操法大会が11月2日、松浦消防本部訓練場で開催されました。

この大会は、屋内消火栓設備の操作技術の向上と維持管理の徹底、自衛消防隊の強化を目的に実施。この日は、男女合わせて11チームが参加し、3人1組で40秒先に設けられた標的を倒すまでの消火作業の時間や正確性を競いました。上位の結果は次の通りです。

#### 【男子の部】

- ①電源開発(株)松浦火力発電所
- ②(株)ニッチツ機械本部
- ③特別養護老人ホームいろは島荘

#### 【女子の部】

- ①松浦市役所
- ②建緑園



## 表情豊かに、気持ちを込めて！

### 小中学生弁論大会

松浦ライオンズクラブ（深見静雄会長）が主催する第29回小中学生弁論大会が11月3日、文化会館で開催され、小学生の部で小山陽菜さん（青島小6年）、中学生の部で久保川芽依さん（調川中3年）が最優秀賞に輝きました。

小山さんは、「<sup>たから</sup>宝の浜」から「世界へ」と題し、大好きな「<sup>ほろ</sup>宝の浜」への思い、美しく豊かな自然を守ることの大切さを呼び掛け、将来は環境を守る職業に就きたいという夢を述べました。久保川さんは、「家族の幸せの形」と題し、何気ない日常に本当の幸せがあること、自分を無条件に受け入れ、素直になれる場所が家族の形であることを自分の経験を通して述べました。

また、審査員特別賞には金子 <sup>うみ</sup>海さん（福島養源小6年）「元気の源」が選ばれました。



## 未来を支える子どもたちへ！

### 松浦市ゴルフ愛好会

第7回松浦市民親睦ゴルフ大会が10月16日、佐世保・平戸カントリークラブで開催されました。

市内のゴルフ愛好者154人が参加し、プレーを楽しみました。上位の結果は次の通りです（敬称略）。

#### 【ネットの部】

- ①山田勝敏
- ②山口 勇
- ③前田直行

#### 【グロスの部】

- 《一般》
- ①松浦孝明
- ②武部周清
- ③山本勝治

#### 【グロスの部】

- 《レディース》
- ①北田有子
- ②平田悦子

また、松浦市ゴルフ愛好会（平田昭三会長）が10月31日、市役所を訪れ、第7回松浦市民親睦ゴルフ大会の参加者のチャリティーと参加費の一部など12万円を寄付しました。

平田会長は、「収益金は、これから松浦市を担う子どもたちの教育振興のため役立ててほしい」と話しました。



## 力を合わせて尊い命を救う！

### 人命救助表彰式

星鹿町青島免で発生した水難事故における人命救助表彰式が11月1日、青島小中学校体育館で行われ、田口靖博さん（星鹿・青島）と宮本まさ子さん（星鹿・青島）に松浦市消防本部消防長から感謝状と記念品が渡されました。

事故は、8月21日の午前11時ごろに発生。青島港付近

で遊んでいた女兒が過って海に転落し、田口さんが海に飛び込み抱きかかえ、事故に気付いた宮本さんが田口さんと一緒に女兒を引き揚げました。2人の迅速な判断と行動によって尊い命が救われました。





## 共に生きる喜び！

### 松浦市老人クラブ大会

第11回松浦市老人クラブ大会が11月12日、文化会館で開催されました。

この大会は、「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくり」をメインテーマに共に生きる喜びを実感できる社会づくりを目的として毎年開催されています。

この日は、米寿を迎えた59人の顕彰や各種表彰のほか、

「振込め詐欺に騙されないで」と題して松浦警察署の堀下幸弘警部補による講演が行われました。

また、会員による演芸発表も行われ、会場は大いににぎわいました。



## 親子で楽しいひとときを！

### すくすくフェスタ

松浦市保育会（谷口廣行会長）が主催する子育て支援事業「すくすくフェスタ」が11月13日、文化会館で開催されました。

同フェスタは、地域や保護者、保育所（園）、認定こども園が交流を深め、子育てに関する共通認識を持ち、その環境をつくることを目的に毎年開催されています。

この日は、市内保育園の先生たちによる「楽しい手あそびタイム」や、国内外で研さんを積んだプロ演奏家による室内楽団「ゾリステン・ドライエック」の『こどもの音楽会』が行われ、童話『大きなかぶ』を音楽で楽しんだり、アニメの曲を手拍子しながらリズムを取って一緒に歌うなど、参加した親子は楽しいひとときを過ごしました。



## 50万本のコスモス満開！

### コスモス畑の収穫祭

第14回コスモス畑の収穫祭（田代地区コスモス祭り実行委員会主催）が11月6日、御厨町田代地区で開催されました。

約50万本のコスモスが咲く中、地元の新鮮な野菜やお米などの農産物直売、いももちの無料配布、十割田舎そばの販売のほか、趣向を凝らしたかかしが並び、来場者が気に入ったかかしに投票する「かかしコンテスト」、じゃがいも拾いやわら束投げ、ねこ（一輪車）引き競争で農業王を決める「農業王決定戦」などが開催されました。会場は、さわやかな秋晴れの下、コスモスを楽しむ家族連れなどで大いににぎわいました。



## 水中考古学の拠点へ！

### シンポジウム「元寇の島鷹島を水中考古学の拠点へ」

シンポジウム「元寇の島 鷹島を水中考古学の拠点へ」が11月6日、文化会館で開催されました。

シンポジウムには、市内外から約300人が参加。文化庁記念物課専門官中村崇志氏の基調講演、琉球大学池田榮史教授と九州国立博物館アソシエイトフェロー佐々木蘭<sup>よしつみ</sup>氏の基調報告が行われました。

パネルディスカッションでは、友広市長が国指定史跡鷹島神崎遺跡で発見された元寇船や遺物を調査・研究する「水中考古学研究センター」（仮称）を開設する方針を発表。国、県、大学などへ呼び掛け共同研究ができる体制を整え、水中考古学の拠点にしていきたいと話しました。

